

# 令和3（2021）年度 大阪大学大学院言語文化研究科

## 言語社会専攻／日本語・日本文化専攻博士後期課程学生募集要項

### I アドミッション・ポリシー

#### 1 言語社会専攻アドミッション・ポリシー

大阪大学及び言語文化研究科のアドミッション・ポリシーのもとに、学位プログラム「言語社会」は、教育目標に定める人材育成の方針に沿って、多様な学生を募るための適切な選抜方式を採用しています。

学位プログラム「言語社会」は、教育目標に定める人材育成の方針に沿って、特定地域の言語（中国語、朝鮮語、モンゴル語、インドネシア語、フィリピン語、タイ語、ベトナム語、ビルマ語、ヒンディー語、ウルドゥー語、アラビア語、ペルシア語、トルコ語、スワヒリ語、ロシア語、ハンガリー語、ドイツ語、デンマーク語、スウェーデン語、英語、フランス語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語）の専門的知識を有し、その言語あるいは言語圏の文化と社会に関する先端的研究、具体的には個別言語を対象にした言語学（語史や音韻、形態、統語、語用等の分析など）、各言語圏の文学（小説・演劇・詩等の文化表象の分析など）、各言語圏の歴史、社会、政治経済（社会の動態と構造の分析など）を扱う学問の先端的研究を実践するに十分な資質をもつ学生を求めています。

博士後期課程に入学するためには、上記の特定地域の言語とその言語圏の文化や社会について、本研究科前期課程修了者と同等の専門的知識と言語運用能力を有することが求められます。そして、上記のような学生を募るため、年1回、次のような選抜試験を行います。

- ◎ 研究活動に資する言語運用能力の高さを確かめるための「言語」の筆記試験
- ◎ 専門分野の知識や研究計画等を確かめるための口述試験

#### 2 日本語・日本文化専攻アドミッション・ポリシー

大阪大学及び言語文化研究科のアドミッション・ポリシーのもとに、学位プログラム「日本語・日本文化」は、教育目標に定める人材育成の方針に沿って、多様な学生を募るための適切な選抜方式（原則として筆記試験及び口述試験による）を採用しています。

学位プログラム「日本語・日本文化」では、日本語・日本文化分野において、他の言語・文化との比較対照的視座から学際的な研究を行う、思考力に優れた学生を広く世界に求めます。将来、国内外の高等教育機関で当該分野における専任の教員を目指す方、海外協力機関や国際機関で日本語・日本文化の発信のために必要な企画・立案・交渉・運営等を指導的立場で行う高度専門職業人を目指す方々の入学を期待しています。

博士後期課程においては、入学試験におけるコースの区分はありませんが、博士前期課程と同じく国内外から多様な人材を集めるために入学時期と試験方法の異なる二つの機会を提供しています。選抜試験の詳細は以下の表のとおりです。

4月入学
提出書類（研究計画、修士論文を含む）、筆記試験（言語）、口述試験
10月入学（外国人留学生のみ）※
提出書類（研究計画、小論文を含む）、Eメール等によるインタビューまたは口述試験

なお、10月入学希望者で海外から直接受験する方には口述試験の代わりにEメール等によるインタビューを実施します。（※10月入学（外国人留学生のみ）は、入学者選抜方法が異なりますので、別途お問い合わせください。）

これらの入学試験によって、ディプロマ・ポリシーに掲げる目標を達成できるための以下に挙げる項目について、入学前に修得しているべき能力を判定します。

- ・ 日本語及び日本文化を世界の諸言語・文化・社会の中で相対的にとらえる比較対照的視座を有する。
- ・ 「日本語学・言語学」、「日本語教育学」、「日本文化学」の三つの系域のいずれかにおける研究歴があり、自ら課題を設定し、研究を計画的に進めていくことができる。
- ・ 自分の専門分野について、論文を執筆することができる。

※ 詳しくは、ホームページ上のアドミッション・ポリシーをご覧ください。

URL [http://www1.lang.osaka-u.ac.jp/ls/admission/a\\_policy.html](http://www1.lang.osaka-u.ac.jp/ls/admission/a_policy.html)

[http://www1.lang.osaka-u.ac.jp/jc/admission/a\\_policy.html](http://www1.lang.osaka-u.ac.jp/jc/admission/a_policy.html)

## II 募 集 人 員

専 攻	募集人員
言 語 社 会 専 攻	8 名
日 本 語 ・ 日 本 文 化 専 攻	5 名

## III 出 願 資 格

次の各号のいずれかに該当する者

- (1) 修士の学位又は専門職学位を有する者及び令和3（2021）年3月31日までに取得見込みの者
- (2) 外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和3（2021）年3月31日までに授与される見込みの者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を日本において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和3（2021）年3月31日までに授与される見込みの者
- (4) 日本において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和3（2021）年3月31日までに授与される見込みの者
- (5) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者及び令和3（2021）年3月31日までに授与される見込みの者
- (6) 外国の学校、(4)の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
- (7) 文部科学大臣の指定した者 \* ①・②
- (8) 本研究科において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、令和3（2021）年3月31日までに24歳に達する者

\* ① 日本の大学又は専門職大学を卒業した後、大学・研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本研究科において、当該研究の成果等により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者

② 外国において学校教育における16年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を日本において履修することにより当該外国の学校教育における

16年の課程を修了した後、大学・研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本研究科において、当該研究の成果等により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者

※ (7)又は(8)に掲げる出願資格により出願しようとする者は、あらかじめ出願資格の認定を受ける必要があるので、「Ⅳ 出願資格事前審査」を参照してください。

#### Ⅳ 出願資格事前審査

「Ⅲ 出願資格」の(7)又は(8)に掲げる出願資格により出願しようとする者については、出願前に個別の出願資格事前審査を行いますので、令和2(2020)年10月16日(金)までに、下記の「出願資格事前審査提出書類」を提出してください。なお、封筒の表に「出願資格事前審査」と朱書きしてください。

##### [出願資格事前審査提出書類]

- (1) 入学試験出願資格認定申請書(所定用紙)
- (2) 研究業績調書(所定用紙)
- (3) 主要論文((2)の研究業績調書のうちから主要論文3点をそれぞれ3部提出してください。日本語又は英語以外の論文の場合は、日本語訳文(出願者作成可)を3部添付してください。)
- (4) 最終学校の卒業証明書\*又は修了証明書\*
- (5) 最終学校の成績証明書\*

\*写しでも可(ただし、出願資格認定後の出願に際しては、原本を提出してください。)  
日本語又は英語以外の証明書の場合は、日本語訳文(出願者作成可)を添付してください。

出願資格事前審査は提出された書類により行います。審査の結果は、本人あてに郵送で通知します。(電話による問い合わせには応じません。)

出願資格事前審査の結果、出願を認められた者は、次の「Ⅴ 出願手続等」により出願することができます。

## V 出願手続等

### 1 出願書類等

出 願 書 類 等	摘 要
入 学 願 書 (所定の用紙)	<ul style="list-style-type: none"> <li>写真は、上半身正面向無帽で、出願前3か月以内に撮影したものを貼付してください。(写真の大きさ縦4cm×横3.5cm、1枚)</li> </ul>
受験票・写真票・発送票 (所定の用紙)	<ul style="list-style-type: none"> <li>太枠内に必要事項を記入してください。</li> <li>写真票に入学願書と同じ写真を1枚貼付してください。</li> </ul>
成 績 証 明 書 及 び 修了(見込)証明書	<ul style="list-style-type: none"> <li>出身大学(修士課程又は博士前期課程)の学長又は研究科長が作成し、厳封したもの(写し不可)</li> <li>偽造防止用紙による証明書の場合は、特に厳封を要しません。</li> <li>日本語又は英語以外の証明書の場合は、日本語訳文(出願者作成可)を添付してください。</li> <li><u>海外の大学等の修了(見込)者で、修了(見込)証明書内に学位名が記載されていない場合は、併せて学位授与(見込)証明書の提出が必要です。</u></li> <li>婚姻等により証明書に記載された氏名と現在の氏名が相違している場合は、改名したことを証明する公的書類を添付してください。</li> </ul>
学力認定(確認)書類 (Ⅲ 出願資格の(6)に掲げる出願資格により出願する場合)	<ul style="list-style-type: none"> <li>出身大学長等が作成(署名)したもので、下記の内容が記載されたもの</li> <li>【記載例】 □□大学としては、本学の学生である◇◇◇◇氏は、「(審査名称)」に合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力を有する者であることを確認し、報告いたします。また、当該審査に関する以下の資料を添付します。</li> <li>【添付資料の例】</li> <li>当該審査の合格の基準</li> <li>当該審査の合格と当該大学における修士の学位の授与要件の関係を示す資料</li> <li>当該審査に合格した者と当該大学に編入学した他の大学の修士の学位を有する者の当該大学における博士の学位を授与するプログラムにおける取扱いの関係を示す資料</li> </ul>
<u>IELTS(Academic Module)</u> 、 <u>TOEFL-iBT Test</u> 、 又は <u>TOEFL-ITP Tests</u> の成績票 (いずれか1つのみ)	<ul style="list-style-type: none"> <li><u>言語社会専攻志願者で、試験科目「言語」に「英語」を選択する者のみ</u>提出してください。</li> <li>詳細は、「<u>Ⅶ 英語外部検定試験の利用について</u>」を必ず確認してください。</li> </ul>

出 願 書 類 等	摘 要
返信用封筒 (受験票送付用)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長形3号(120mm×235mm)封筒に出願者の郵便番号、住所、氏名を明記し、84円分の郵便切手を貼付してください。(書留による受験票送付を希望する場合は404円分の郵便切手を貼付してください。)</li> </ul>
修士論文等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・修士論文の写し2部又はこれに代わる論文(点数は問わない。)を1点につき2部提出してください。(氏名を記載した表紙を添付してください。)</li> <li>※ 本研究科の(令和3(2021)年3月)修了見込みの者についても、必ず出願用として2部提出してください。</li> <li>・<u>出願期間中に論文を提出することができない者は、出願の際に必ず「論文提出期限延長希望理由書」(論文の提出日を明記し、志願者本人が署名、捺印したもの：様式は自由)を提出してください。</u>なお、<u>提出の延長期限は、令和3(2021)年1月20日(水)17時(持参又は郵送による必着)とします。</u></li> <li>※ 修士論文等を、出願期間中(論文提出期限の延長を希望した者については、令和3(2021)年1月20日(水)17時まで)に提出しなかった者については、受験を認めません。(出願書類及び納入された検定料は返付しません。)この場合、「受験辞退届」(書式は自由：A4判用紙で、本人が署名・捺印したもの)を提出していただきます。</li> </ul>
修士論文等の要約	<ul style="list-style-type: none"> <li>・提出論文ごとに、日本語で2,000字程度の要約を作成してください。</li> <li>・外国語の論文を提出する者については、日本語で6,000字程度の要約を作成してください。</li> <li>・<u>A4判用紙を使用し、所定の表紙を付して提出してください。</u></li> <li>・<u>ページ番号を右下に付してください。</u></li> <li>・<u>論文提出期限の延長を希望する者(「修士論文等」欄参照)についても、論文の要約については、必ず出願期間中に提出してください。</u>(論文の要約についての提出期限の延長は認めません。)</li> </ul>
研究計画書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入学後の研究計画について、2,000字程度(日本語)で作成してください。</li> <li>・<u>A4判用紙を使用し、所定の表紙を付して提出してください。</u></li> <li>・<u>ページ番号を右下に付してください。</u></li> </ul>
修学歴調書 (所定の用紙)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国において学校教育の課程を修了した者については、必ず提出してください。</li> </ul>
研究業績一覧 (所定の用紙)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出願時まで、学術論文の公表、学会等での研究発表などの研究業績を有する者は、提出してください。</li> </ul>

出 願 書 類 等	摘 要
検 定 料 (30,000 円)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・検定料振込依頼書により、銀行窓口で振り込んでください。 (ATM、インターネット等は利用できません。)※ゆうちょ銀行(郵便局)からは振り込みできません。なお、振込手数料は、志願者の負担とします。</li> <li>・検定料納入証明書は、必ず願書の指定された場所にはがれないように貼付して提出してください。</li> </ul> <p>(注) 令和3(2021)年3月に本学大学院博士前期(修士)課程又は法科大学院の課程を修了見込みの者及び国費外国人留学生として入学する者については、検定料は不要です。ただし、後者の者については、<u>国費外国人留学生であることを証明できる書類を提出してください。</u>(本研究科言語社会専攻及び日本語・日本文化専攻に在籍している国費外国人留学生は提出不要です。)</p>

(注) 1 出願書類は返却しません。

2 納入された検定料は返却しません。ただし、本研究科が出願書類の不備等の理由により出願書類を受理しなかった場合又は誤って納入した場合は、本人の請求に基づいて返付します。

2 出願期間 令和2(2020)年11月24日(火)から12月4日(金)

3 出願方法 (以下のいずれかの方法で出願してください。)

(1) 【持参による場合】

・提出場所：箕面事務室学生支援係

・出願書類受付時間：平日9時30分～11時00分、12時30分～17時00分

(時間厳守のこと)

(2) 【郵送による場合】

・出願書類を角形2号(240mm×332mm)封筒に入れて、封筒の表に「大学院博士後期課程入学願書在中」と朱書きし、箕面事務室学生支援係に必ず出願期間内に到着(必着)するように書留により発送してください。

・ただし、期限後に到着したもので、令和2(2020)年12月2日(水)以前の日本国内発信局消印のあるものについては受け取りません。

## VI 入学者選抜方法

入学者の選抜は、学力検査の成績、口述試験、修士論文又はこれに代わる論文、研究計画書及び成績証明書等の審査の結果を総合して行います。

(1) 学力検査等の日程

実 施 期 日	試験科目(配点)	時 間	摘 要
令和3(2021)年 2月7日(日)	言語(100点)	10:30から12:00まで	※1
	口述試験	13:00から	※2

※1 入学願書の「試験科目 言語」欄に受験する言語を記入すること。

中国語、朝鮮語、モンゴル語、インドネシア語、フィリピン語、タイ語、ベトナム語、ビルマ語、ヒンディー語、ウルドゥー語、アラビア語、ペルシア語、トルコ語、スワヒリ語、ロシア語、ハンガリー語、ドイツ語、デンマーク語、スウェーデン語、英語<sup>(注)</sup>、

フランス語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語のうちから、「第一言語」\*を除く、志願者選択の1言語の問題を課す。ただし、外国人の志願者は、前記言語に代えて日本語を選択受験することができる。

\*「第一言語」とは、いわゆる「母語」のことで、志願者が最も自己を表現しやすい言語をいう。

(注) 言語社会専攻志願者で、試験科目「言語」に「英語」を選択する者には、試験科目「言語」の一部として言語運用能力を確かめるための英文による小論文の試験を課し、提出された英語外部検定試験の成績を得点換算した得点を加えた合計点(配点100点)により評価します。

※ 英語外部検定試験成績の提出方法については、「VII 英語外部検定試験の利用について」を確認してください。

※2 提出論文等及び志望する専攻分野について、口述試験を行う。

## (2) 試験場

大阪大学箕面キャンパス

おおさかふみのおしあおまたにひがし  
大阪府箕面市粟生間谷東8丁目1番1号

(<https://www.osaka-u.ac.jp/ja/access/minoh/minoh.html>)

## VII 英語外部検定試験の利用について

言語社会専攻志願者で試験科目「言語」に「英語」を選択する者は、IELTS(Academic Module)、TOEFL-iBT Test、又は TOEFL-ITP Testsの成績票(いずれか1つのみ)の提出が必要です。成績票の提出にあたっては、以下の点について留意願います。

### 【全般的事項】

- ①IELTS(Academic Module)、②TOEFL-iBT Test、又は ③TOEFL-ITP Testsの成績票(いずれか1つのみ)を提出してください。
- 2018年4月1日以降に受験したもので、出願時において有効期限内である成績票のみ有効です。
- 提出された成績票は返却しません。

### 【① IELTS(Academic Module)】

- IELTS事務局から大学に直接送付される電子送信での成績証明書(Test Report Form)のみ受け付けます。
- インターネットでIELTS事務局に申請される際には、送付先を「大阪大学大学院言語文化研究科言語社会専攻/日本語・日本文化専攻(箕面事務室学生支援係)」、送付先住所を「〒562-8558 大阪府箕面市粟生間谷東8-1-1」とし、備考欄に「電子送信」の旨を記入してください。
- IELTS事務局から大学へ直接送付される成績証明書(Test Report Form)が出願期間内に届かない見込みの場合は、IELTSから受験者宛てに発行された成績票(Test Report Form)の写しを提出してください。但し、その場合でも、IELTS事務局から大学に直接送付される成績証明書(Test Report Form)の送付申請は必ず行ってください。令和2(2020)年12月21日(月)までにIELTS事務局から大学に成績証明書(Test Report Form)が直接届かない場合は受験を認めません。
- IELTS(General Training Module)は認めません。

## 【② TOEFL-iBT Test】

- ETS (Educational Testing Service 以下同じ。) から 大学に直接送付される公式スコアレポート (Institutional Score Report 又は Official Score Report) のみ受け付けます。
- インターネットで ETS に本研究科への直接送付の申請をしてください。申請の際に必要な登録コードは「C685」です。また、Department Code が必要な場合は「98 other humanities」を選択してください。(ETS からスコアレポート発送後、本研究科に到着するまでに 4～6 週間以上要する場合がありますので、余裕をもって申請してください。)
- ETS から大学に直接送付される公式スコアレポート (Institutional Score Report 又は Official Score Report) が出願期間内に届かない見込みの場合は、ETS から受験者宛てに発行された Test Taker Score Report 又は Examinee Score Report の写しを提出してください。但し、その場合でも、ETS から大学に直接送付される公式スコアレポート (Institutional Score Report 又は Official Score Report) の送付申請は必ず行ってください。令和 2 (2020) 年 12 月 21 日 (月) までに ETS から大学への公式スコアレポート (Institutional Score Report 又は Official Score Report) が直接届かない場合は受験を認めません。
- Test Date Scores のみを利用します。(MyBest Scores は利用しません。)

## 【③ TOEFL-ITP Tests】

- TOEFL-ITP Tests のスコアレポート(受験者用控え)の写しを提出してください。
- 本学以外で受験した TOEFL-ITP Tests のスコアレポート(受験者用控え)の写しを提出する場合は、テストを実施した機関(所属(出身)大学等)から原本証明が必要です。(原本証明の無いものは無効とします。)
- 出願期間内にスコアレポート(受験者用控え)の写しの提出が無い場合は受験を認めません。

## VIII 合格者の発表

合格者の発表は、令和 3 (2021) 年 2 月 12 日 (金) 13時から大阪大学箕面キャンパス「阪大外国語学部前」バス停前掲示板で、受験番号の掲示により行うとともに、合格者には合格通知書及び入学手続案内を送付します。

なお、合否に関する電話による問い合わせには一切応じません。

また、言語社会専攻/日本語・日本文化専攻のホームページでも合格者の受験番号を公開する予定です。

## IX 入学手続

合格者は、合格通知に同封する入学手続案内に従い、入学手続を完了してください。

なお、指定された入学手続期間中に入学手続を完了しない者は、入学を辞退したものと取り扱います。

※入学手続期間は、令和 3 (2021) 年 3 月 1 日 (月) ～ 3 月 3 日 (水) の予定です。

## X 入学料及び授業料 (下記の金額は予定であり、今後変更することがあります。)

- 1 入学料 282,000円 (本学大学院博士前期(修士)課程又は法科大学院の課程を修了し、引き続き博士後期課程に入学する者については、入学料は不要です。)
- 2 授業料 535,800円 (前期分 267,900円・後期分 267,900円)

(注 1) 在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

(注 2) 入学料及び授業料の支払方法等については、入学手続案内にて通知します。



## XI 個人情報の取扱い

出願書類等に記載されている氏名、生年月日、住所、その他の個人情報は、入学者選抜、合格者発表及び入学手続等の入試業務並びに入学後の修学指導業務等を行うために利用します。

取得した個人情報は、適切に管理し、利用目的以外には使用しません。

## XII その他

- 1 入学願書等の所定様式は、大阪大学大学院言語文化研究科言語社会専攻ホームページ（入試情報）からダウンロードのうえ利用してください。提出書類は全てA4判用紙（白紙）で印刷してください。（[http://www1.lang.osaka-u.ac.jp/ls/admission/a\\_ls\\_info.html](http://www1.lang.osaka-u.ac.jp/ls/admission/a_ls_info.html)）ホームページからダウンロード及び印刷できる環境にない方は、郵送で請求してください。郵送で請求を行うときは、封筒の表に「言語文化研究科言語社会専攻／日本語・日本文化専攻博士後期課程募集要項請求」と朱書きし、返信用封筒（角形2号（240mm×332mm））封筒に210円分の切手を貼付し、本人の宛名を明記したもの）を同封の上請求してください。請求・照会等先は、末記の《問い合わせ先》とします。
- 2 出願書類の記入事項及び書類等に不備がある場合は、受理しません。
- 3 出願書類受理後は、書類の差し替えや記入事項の変更は認めません。また、出願書類及び納付された検定料は返付しません。
- 4 出願書類等に虚偽の記載をした者は、入学決定後であっても入学の許可を取り消すことがあります。
- 5 受験票は、令和3（2021）年1月8日（金）に出願者へ郵便で発送する予定です。なお、令和3（2021）年1月13日（水）を過ぎても受験票が到着しない場合は、末記の《問い合わせ先》に問い合わせてください。
- 6 障がい等のある者で、受験及び修学に際して特別な配慮を必要とする者は、出願に先立ち、令和2（2020）年10月16日（金）までに、末記の《問い合わせ先》に問い合わせてください。
- 7 出願後に住所変更等があった場合は、速やかに末記の《問い合わせ先》に連絡してください。
- 8 出願にあたっては、自身が志望する研究内容等を踏まえ、後掲の参考資料「指導担当教員一覧」により担当教員、研究分野及び研究題目等を十分に確認しておいてください。

## XII 受験上の注意

- 1 試験場（大阪大学箕面キャンパス）及び最寄り駅からの経路については、大阪大学ホームページアクセスマップ（<https://www.osaka-u.ac.jp/ja/access/accessmap.html>）等を参照してください。
- 2 試験室等については、試験当日、大阪大学箕面キャンパス研究・講義棟A棟1階玄関ホールに掲示します。
- 3 試験当日は、受験票及び筆記用具（黒鉛筆又は黒い芯のシャープペンシル、消しゴム）を必ず持参してください。なお、受験票を忘れた場合は、試験場本部に申し出てください。
- 4 時計については、計時機能だけのものに限り使用を認めます。
- 5 受験者は、試験開始時刻の20分前までに試験室に入室し、受験番号ごとに指定された受験席に着席してください。
- 6 試験開始時刻に遅刻した場合は、試験開始時刻後20分以内の遅刻に限り、受験を認めません。
- 7 試験開始後は、原則として当該試験終了まで退室を認めません。なお、試験中の発病等やむを得ない事情により一時退室を希望する場合は、挙手して試験監督者に申し出てください。

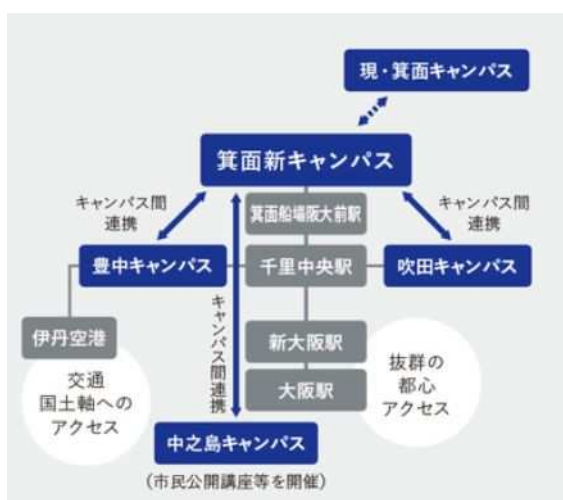
- 8 試験に関して不正な行為があると認められた時は、その者の試験を無効とし、以後の受験を禁止します。
- 9 口述試験の開始10分前までには口述試験控室に待機しておいてください。
- 10 口述試験は、受験番号順に行うとは限りません。受験者ごとに試験開始時刻・終了時刻が異なりますので、担当者から指示があるまで、必ず口述試験控室で待機しておいてください。
- 11 試験当日は、学内食堂等は営業していませんので、昼食は各自で用意してください。

## 【重要なお知らせ】

### 大阪大学箕面キャンパスの移転について

大阪大学箕面キャンパスは、令和3（2021）年4月に箕面船場地区へ移転を予定しております。

なお、北大阪急行の延伸については、開業目標が当初の令和2（2020）年度から3年延期され、令和5（2023）年度となりました。大学最寄りの新駅の名称は「箕面船場阪大前駅」です。千里中央駅から新キャンパス近辺まで既設の路線バス（阪急バス）が運行しています。乗車時間は約10分程度です。



※イメージ

### 《問い合わせ先》

大阪大学言語文化研究科・外国語学部箕面事務室学生支援係

〒562-8558 大阪府箕面市粟生間谷東8丁目1番1号

TEL (072) 730-5069 (直通)

URL <http://www1.lang.osaka-u.ac.jp/>

博士後期課程指導担当教員一覧

●言語社会専攻教員研究分野

区分	職名	担当教員	研究分野	研究題目
中国語	教授	古川 裕	中国語学・中国語教育	認知言語学による現代中国語構文論、語構成論；中国語教育における到達度評価
		深尾 葉子	社会生態学・中国社会論・越境マネジメント	中国社会の内在論理に則したコミュニケーション分析・中国における環境と人々の生活の相互作用に関する研究・東アジア里山経済の越境マネジメント
	准教授	今泉 秀人	中国現代文学	中国現代文学、特に沈從文作品の表現と内容に関する研究、また作家の事跡に関する研究。中国語圏文学の研究、特に台湾の鍾理和や馬華文学の作品や作家の事跡について。
		林 初梅	言語社会学	近現代台湾におけるアイデンティティ形成・言語・社会文化に関する研究
	講師	鈴木 慎吾	中国語学	①中古音を中心とした漢語音韻史 ②切韻系韻書の増補改訂史 ③漢語諸方言音の歴史的変遷
		中田 聡美	中国語学	現代中国語のモダリティに関する研究
		劉 文兵	映画論、表象文化論	中国映画史、日中映画交流史、欧米映画における中国人の表象
朝鮮語	教授	岸田 文隆	朝鮮語学(朝鮮語史研究)	江戸期対馬の朝鮮語学書についての文献学的研究
	准教授	酒井 裕美	朝鮮近代史	19世紀後半、統理交渉通商事務衙門を中心として行われた朝鮮の外交政策について
モンゴ	教授	塩谷 茂樹	モンゴル語学、モンゴル口承文芸	①モンゴル語形態論、語彙論研究 ②モンゴル語ことわざ、民話、慣用句研究 ③モンゴル系民和土族語の記述言語学的研究
インドネシア語	准教授	原 真由子	社会言語学、インドネシア語学、バリ語学	①バリ語とインドネシア語のコード混在 ②バリ語山地方言の社会言語学的研究
		菅原 由美	インドネシア史、イスラーム史	東南アジア島嶼部におけるイスラームの展開
	講師	松村 智雄	インドネシア地域研究	インドネシア国民形成期の華人社会の動態、インドネシアにおける中国・華人研究の発展
フィリピン語	教授	宮原 暁	社会人類学、華僑華人研究	東・東南アジアにおける人の移動に伴う知識、技術、モノの多声的翻訳プロセスに関する社会人類学的研究。華僑華人のオラリティとリテラシーに関する社会人類学的研究。
	准教授	宮脇 聡史	フィリピン地域研究	フィリピン市民社会(特にカトリック教会)の国民意識・歴史認識と政治・社会参加
タイ語	教授	宮本 マラシー	社会言語学	①タイ語表現 ②タイ語コミュニケーション ③タイ語と性差
		村上 忠良	タイ地域研究、文化人類学	①声と文字をめぐる宗教実践 ②タイ系民族シャンの社会と文化 ③タイ国内の宗教的少数派
	講師	日向 伸介	タイ近現代史、地域研究	近現代のタイにおける政治と文化
ベトナム語	教授	清水 政明	ベトナム語学	①字喃資料によるベトナム語史研究 ②ベトナム語教育・習得研究
	講師	ファン・ティ・ミイ・ロアン	ベトナム語学	①ベトナム人を対象とした漢字・漢語学習指導法 ②日本語とベトナム語の両言語で使われる熟語の意味・用法にある異同の考察
	助教	近藤 美佳	ベトナム語教育	在日ベトナム人への母語・継承語教育
ビルマ語	准教授	井上 さゆり	ビルマ音楽、ビルマ文学	①ビルマ古典歌謡における口承と書承 ②ビルマ歌謡史
		池田 一人	ビルマ地域研究、ビルマ史	①19世紀ビルマの民族形成史 ②ビルマの民族問題をめぐる史観研究
	講師	大塚 行誠	言語学	ビルマ語およびクキ・チン系諸言語の記述言語学的研究

区分	職名	担当教員	研究分野	研究題目
ヒンディー語	准教授	長崎 広子	中世ヒンディー文学	古ヒンディー語を中心としたヒンドゥー教バクティ文学とその思想の研究
		西岡 美樹	言語学・ヒンディー語学	①ヒンディー語と日本語の言語学的対照研究 ②ヒンディー語ウェブコーパスと検索システムの開発
ウルドゥー語	教授	山根 聡	ウルドゥー文学 南アジアのイスラーム文化	①ウルドゥー語話者地域の拡大に関する研究 ②南アジアにおけるイスラーム運動の諸相
	准教授	北田 信	ウルドゥー語学	①ウルドゥー語学・文学 ②新期インド・アール語の文学 ③南アジアの伝統芸能
アラビア語	教授	近藤 久美子	アラビア語学、アラブ文学	アラビア語文法、アラブ古典文学、アラブ地域の民俗伝承研究
	准教授	依田 純和	アラビア語方言論	現代アラビア語の文法記述、マルタ語研究全般
		福田 義昭	アラビア語、アラブ文学	①近現代アラブ小説の歴史的展開 ②昭和戦前・戦中期の在日(とくに在神戸)ムスリム・コミュニティに関する研究
	講師	仲尾 周一郎	言語学、南スーダン地域研究	①アラビア語諸変種に関する現代言語学的研究 ②多言語使用・言語接触と言語変化 ③北東アフリカ都市文化研究
ペルシア語	教授	藤元 優子	イラン現代文学	イラン現代小説とジェンダー
	准教授	竹原 新	イラン民俗学	イランの民話と俗信に関する研究
	講師	ジャハドザデ ショ ルブラグ ベヘナム	ペルシア語学、言語学	現代ペルシア語の言語学観点からの研究
トルコ語	教授	大澤 孝	トルコ文化史研究	古代テュルク系遊牧民の碑文言語と歴史文化の調査研究
	准教授	藤家 洋昭	記述言語学	チュルク諸語の記述言語学的研究
		宮下 遼	トルコ文学(史)、トルコ社会史	近世トルコにおける文化的選良層の実態解明、トルコ文学現代作家の社会性を巡る言説研究
スワヒリ語	教授	竹村 景子	スワヒリ語学、スワヒリ文学、 スワヒリ文化論	①スワヒリ語諸変種の記述研究および標準スワヒリ語テキスト開発の研究 ②スワヒリ地域における女性の語りと歴史記述の研究 ③現代スワヒリ文学研究
		米田 信子	言語学	①バントゥ諸語の記述研究 ②多言語社会における言語政策・言語権
		小森 淳子	アフリカ言語学	ニジェール・コンゴ語族における動詞構造の形態・統語論比較研究 ①バントゥ諸語における動詞派生形研究 ②ヨルバ語、バンバラ語の統語論記述研究
ロシア語	教授	上原 順一	ロシア語学	①現代ロシア語の語彙論、語形成論 ②電子教材の研究
		藤原 克美	ロシア経済論	①ロシアの企業及び産業の研究 ②ソビエト消費財産業の研究
	准教授	横井 幸子	ロシア語教育・言語教育	①高校におけるロシア語教育支援のための基盤研究 ②日本における外国語教育政策研究
	助教	高橋 健一郎	ロシア芸術	①ニコライ・メトネルの音楽と同時代の思想の関係 ②ロシア・アヴァンギャルド音楽における世界観
ハンガリー語	教授	岡本 真理	ハンガリー言語社会論	①近代ハンガリーの国民文学形成 ②近現代ハンガリーの言語問題
		鈴木 広和	ハンガリー史	①中世ハンガリー史 ②ハンガリーにおける歴史叙述の歴史
ドイツ語	教授	進藤 修一	ドイツ・オーストリア近現代史	①近代ドイツ教育社会史 ②ドイツ語圏における教育と民族 ③現代ドイツの移民問題と教育
		中川 裕之	ドイツ語学／言語学	①ドイツ語コーパス言語学 ②ドイツ語談話分析 ③日独語対照研究 ④スイスの多言語多文化研究
	講師	黒谷 茂宏	ドイツ語学／言語学	①ドイツ語文法研究(形態統語論・意味論・語用論) ②言語類型論 ③一般言語理論

区分	職名	担当教員	研究分野	研究題目
デンマーク語	教授	田邊 欧	デンマーク文学・北欧文学	①デンマーク近・現代文学 ②北欧モダニズム研究
		石黒 暢	社会福祉学、社会政策論	①北欧と日本の高齢者介護政策の国際比較研究 ②子育て支援政策の国際比較研究 ③福祉国家論とガバナンス研究
	講師	大辺 理恵	デンマーク語学、言語学	デンマーク語の法助動詞における意味の歴史の変遷、デンマーク語の心象詞の用法
スウェーデン語	教授	高橋 美恵子	社会学、家族政策	①スウェーデンと日本の家族・ジェンダー ②ワーク・ファミリー・バランスの国際比較研究
	准教授	古谷 大輔	近世スウェーデン史(西洋史)	スウェーデンを対象とした近世ヨーロッパにおける複合的国家編成の研究
	講師	當野 能之	スウェーデン語学、言語学	現代スウェーデン語の不変動詞に関する研究
英語	教授	大津 智彦	英語統語法の歴史の変遷	①コーパスを使った英語統語法の史の変遷の記述と説明 ②現代英語に起こりつつある統語的変化の研究
		杉田 米行	アメリカ史	①AI(人工知能)とビッグデータが社会に与える影響 ②アメリカ政治外交史 ③日米医療保険制度 ④安全保障
		畑田 美緒	イギリス文学	19世紀のイギリス小説
		渡邊 克昭	アメリカ文学・文化	①現代アメリカ文学・文化、批評理論研究 ②アメリカ映像文化・メディア表象論 ③英語文学におけるポストヒューマン主義の思想史的展開
		中村 未樹	イギリス演劇・イギリス文化	①エリザベス朝の舞台慣習と演技 ②イギリス演劇の通時的研究 ③イギリス文化研究(初期近代から現代まで)
フランス語	教授	川北 恭子	フランス語学	フランス語の連結詞に関する研究
		高階 早苗	フランス近現代文学	マルルメにおける時空間の問題
	講師	岡田 友和	フランス近現代史	19-20世紀フランスの植民地と帝国をめぐる歴史研究
イタリア語	准教授	菊池 正和	イタリア文学	①イタリア近現代演劇 ②近現代シチリア文学
		ベルテッリ ジュリオ	イタリア史・日本史・国際関係史(近現代史)	①幕末・明治期における日伊外交・貿易関係に関する研究 ②19-20世紀のイタリア人が遺した日本関係史料(日記・書簡など)を中心とした研究
	助教	霜田 洋祐	イタリア文学	①マンゾーニ『婚約者』の語りの技法 ②イタリア近代小説
スペイン語	教授	大内 一	スペイン中・近世史	①中世カスティーリヤ王国の王権に関する研究 ②中世スペインの都市社会に関する研究 ③カトリック両王に関する研究 ④アルフォンソ10世に関する研究
		長谷川 信弥	スペイン語学、カタロニア語学、ロマンス語学	イベリア半島のロマンス語(特にカタロニア語、スペイン語)に関する記述的研究
	准教授	中本 香	近代スペイン史	近代スペインにおける国家編成の理論と実践
		松本 健二	ラテンアメリカ文学	チリ現代詩
		岡本 淳子	スペイン文学	①フランコ独裁政権下の検閲と演劇 ②ポスト・フランコの演劇
ポルトガル語	教授	平田 恵津子	ブラジル文学	①ブラジルモダニズム文学 ②日系ブラジル人の芸術表現
	准教授	鳥居 玲奈	ポルトガル語学	現代ブラジルポルトガル語文法研究(形態統語論・語彙論)

- (注) 1. 指導教員には、主指導教員と副指導教員の区別があります。入学後に主指導教員が決まります。  
2. この一覧表は、言語文化研究科と日本語日本文化教育センターの専任教員に限定して作成したものです。

●日本語・日本文化専攻教員研究分野

系統	職名	担当教員	研究分野	研究題目
日本語学・言語学系域	教授	岩井 康雄	日本語学、日本語音声学・音韻論	①語彙カテゴリーと音韻 ②日本語学習者音声の特徴
		岸田 泰浩	理論言語学・言語類型論	①統語論を中心とした理論的研究・類型論的研究(格やevidentiality等) ②コーカサスの諸言語(アルメニア語やグルジア語)との対照研究
		中田 一志	現代日本語文法、文法教育	日本語のモダリティ、アスペクト、複文研究
		今井 忍	日本語学	日本語の形態法に関する認知言語学的研究
		三原 育子	日本語学・統語論	①機能語の類の統語論的研究 ②統語的な観点からの文法体系の構築
	准教授	蔦 清行	日本文献学	①古代日本語の研究 ②中世日本における漢文化の影響の研究
		山川 太	理論言語学	①日本語動詞における意味構造と統語的特徴との関連 ②漢語レベルにおける意味構造の分析
	講師	儀利古 幹雄	音声学、音韻論、社会言語学	日本語音声の変化に関する社会言語学的研究
		山泉 実	言語学(意味論、語用論)	名詞句の認知意味論・認知語用論
日本語教育学系域	教授	筒井 佐代	日本語教育学	①日本語の会話の構造分析 ②日本語の話しことば教育への会話分析の応用
	准教授	小森 万里	日本語教育学	①アカデミック・ライティング教育 ②日本語教育のための文法・談話研究
		大和 祐子	日本語教育学	①日本語学習者の言語能力評価に関する研究 ②外国語としての日本語の習得とそれに影響する要因の検討
日本文化学系域	教授	加藤 均	仏教学	①近世・近代日本における仏教改革者の思想 ②インドと日本の仏教思想の比較研究
		五之治 昌比呂	比較文学	日本における西洋古典受容の研究
		岩井 茂樹	日本文化史、比較文化	①伝統文化研究 ②諸概念の受容および変容研究 ③表象文化研究
	准教授	佐野 方郁	日本史学	①近現代日本の国際関係に関する研究 ②戦後日本の史学史に関する研究
		柴田 芳成	日本古典文学	中世文学の研究
		松村 薫子	日本文化学、民俗学	①民間信仰の研究 ②妖怪文化の研究
		水野 亜紀子	日本近代文学	日本近代女性文学の研究
	講師	永原 順子	日本文化論	①伝統芸能、祭礼、怪異伝承の研究 ②自然科学の視点をういた日本文化研究

- (注) 1. 指導教員には、主指導教員と副指導教員の区別があります。入学後に主指導教員が決まります。  
2. この一覧表は、言語文化研究科と日本語日本文化教育センターの専任教員に限定して作成したものです。